

第23回青年対策交流集会

関西地方神戸支部山陽バス分会 向井優樹

今回、初めて青年対策交流集会に参加しました。

来年、関西が運営担当ということで、青年対策交流集会がどんなものなのかを楽しみにしていました。

1番良かったなと思ったのは班に分かれての分散会でした。

一つ目の議題は福島キャラバンについて、東北の仲間が持ってきた写真を資料に、これまでの経験を聞かせてもらいました。原発事故により避難区域になり、いまだに帰れない人がいることを知り衝撃的でした。実際に現地を見て体感するために、いつかキャラバンに参加したいと思います。

二つ目の議題は青年部の活動について、コロナ禍でどの地方、支部もほとんど活動ができていません。新入社員が活動に触れる機会が少なく、レクレーション等をして興味を持ってもらうキッカケ作りが大切だと感じました。

最後の議題は中央本部からどんな職業であればいいか、どんな理想があるかでした。そこで全員共通していたのは休日出勤、残業無しでも暮らしていける賃金があれば良いという事でした。

賃金が上がらないと、人手不足も解消しないし、従業員のやる気も上がらないので、全員で団結して交渉していくことが大事だなと思いました。

3日間全国の青年部メンバーと様々な意見を交わせたし、繋がりも増えたのでとてもいい経験が出来ました。

来年関西が担当なのでしっかり内容を考え、実りあるものにしていきたいと思いません。